

振り返れば 20 年間、私が研究・教育の現場に携わってこれたのも、大西先生のお引き立てがあつてのことだと思います。

コロナ禍もあつてお会い出来ない時期が続き、その中でいただいたご病気の連絡と続く訃報。ご葬儀に参加させていただいてなお、あの先生ともう言葉を交わすことができないとは未だに実感が湧きません。

私に足りない所をあらわに、そして評価していただいていた点を陰に、先生に支えていただいたことを胸にいつまでも忘れず活かすことで、そして我々に続く学生を育ててゆき、少しでも教えを繋げることができれば良いと今は思っています。

大西先生、これを持ちまして尽くし得ないお別れの言葉といたします。

椿原 康介（旭川工業高等専門学校）